

第170期 株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日



(本社ビル外観)

Contents

株主の皆様へ	01
連結業績ハイライト	01
主要連結財務データ	02
セグメント別業績	03
特集 コラーゲン摂取に関するQ&A	05
連結財務諸表	09
会社の概況／株式情報	10

株主の皆様へ

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第170期連結事業に関してご報告を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費は伸び悩んだものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループにおきましては、コラーゲン・ケーシング事業、皮革関連事業が厳しい状況で推移したことから、売上高は減収となりました。一方、堅調なゼラチン関連事業、安定的な不動産収益、原料価格やエネルギーコストの低減、および減価償却の方法変更などにより、経常利益、当期純利益は増益となりました。

今後につきましては、コラーゲン・ケーシング事業、ゼラチン関連事業の製造部門において、生産性の向上とコスト削減に努め、競争力のある製品づくりを推し進め、業績拡大に努めてまいります。また、化粧品関連事業、iPS細胞関連事業の販売力の向上に努め、さらなる経営体質の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



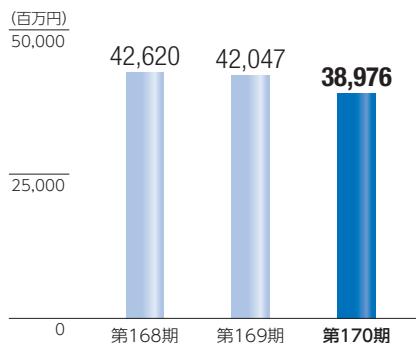
代表取締役社長

伊藤隆男

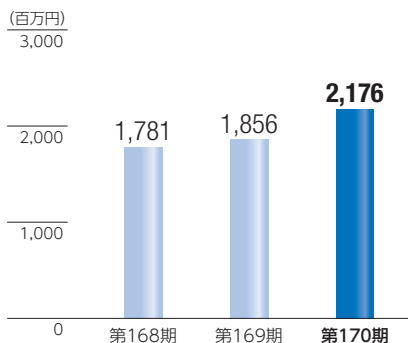
平成29年6月

連結業績ハイライト

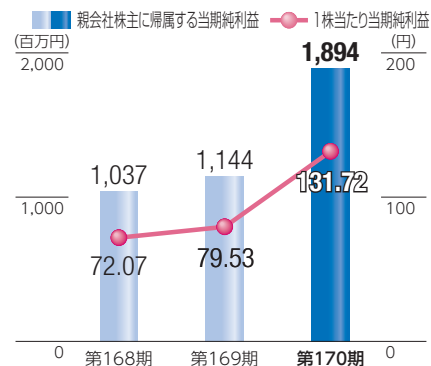
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益/1株当たり当期純利益



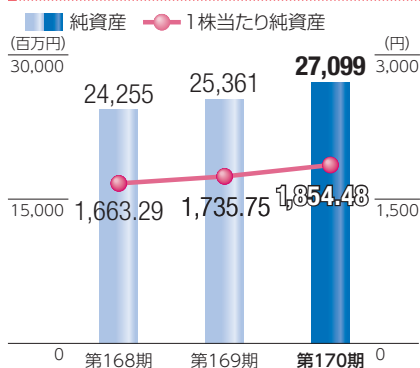
主要連結財務データ

項目		期別	第168期 (H26.4.1~H27.3.31)	第169期 (H27.4.1~H28.3.31)	第170期 (H28.4.1~H29.3.31)
売上高	(百万円)		42,620	42,047	38,976
経常利益	(百万円)		1,781	1,856	2,176
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)		1,037	1,144	1,894
一株当たり	当期純利益 (円)		72.07	79.53	131.72
	純資産 (円)		1,663.29	1,735.75	1,854.48
総資産	(百万円)		63,975	64,497	65,282
純資産	(百万円)		24,255	25,361	27,099

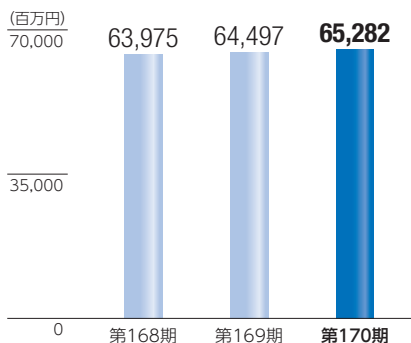
売上高は減収となったものの、原料価格やエネルギーコストの低減、減価償却の方法の変更などで経常利益は増益となりました。

また、それらに加え長期棚上債権の売却により特別利益が計上されたことや税金費用の軽減などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な増益となりました。

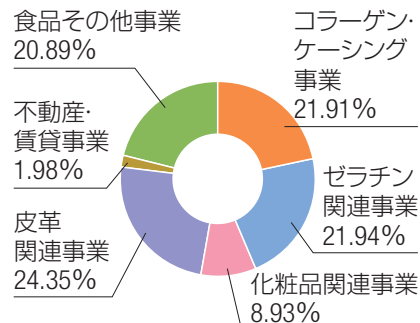
純資産／1株当たり純資産



総資産



セグメント別売上高(連結)



セグメント別業績

コラーゲン・ケーシング事業

売上高

8,539百万円

(723百万円減)
(前期比 92.1%)

営業利益

1,411百万円

(453百万円減)
(前期比 75.6%)

国内営業部門は、高騰していた天然腸の価格安定化にともなう羊腸への回帰の動きが顕著となり、ウインナーサイズの販売量が減少しました。

海外営業部門は、競合他社との価格競争が激化するなかで、顧客フォローに注力するなど市場シェア拡大に努めました。

コラーゲン・ケーシング市場は成熟しつつあり、今後も厳しいシェア争いが継続すると予想されます。当社グループにおき

ましては、製造原価低減を視野に入れた新生産方式を確立し、生産性向上を目指すとともに新規市場の開拓に取り組むなど、収益性を重視した販売戦略の構築に努めてまいります。



▲コラーゲン・ケーシング

ゼラチン関連事業

売上高

8,551百万円

(265百万円増)
(前期比 103.2%)

営業利益

1,142百万円

(570百万円増)
(前期比 199.7%)

ゼラチン部門は、少子化の影響で菓子関係の商品淘汰が進んでおりますが、好調なグミキャンディ向けに注力しました。また、現代社会の生活スタイルにマッチしたコンビニエンスストア向け惣菜用途などが好調に推移しました。

ペプタイド部門は、国内の健康食品市場の需要が停滞するなか、海外の展示会へ積極的に出展し、輸出向けの売り上げが増加しました。

両部門ともに、新規商品の開発・提案活動に注力するとともに、商品の効果・効能の検証等に取り組み、他社商品との差別化や市場における優位性の確保に努めてまいります。



▲レンジアップ商品

不動産・賃貸事業

売上高

773百万円

(76百万円増)
(前期比 110.9%)

営業利益

600百万円

(85百万円増)
(前期比 116.7%)

東京都足立区、大阪市浪速区ともに、賃貸事業は順調に推移しました。

千住大橋駅周辺再開発地区ポンテグランデTOKYOにおいて、東京都が進めているスーパー堤防事業は当該地区内全線

が開通するなど、当社が参画している「千住大橋駅周辺地区まちづくり計画」は順調に推移しております。

また、G街区においては、近隣の小学校改築工事にともなう仮設校舎の運用が開始されました。当社保有土地につきましては、今後も不動産動向、建設市況動向等を注視しながら、暫定利用を併用しつつ、開発を推進してまいります。



▲千寿小学校仮設校舎

化粧品関連事業

売上高

3,479百万円

(9百万円増)
(前期比 100.3%) ↑

営業利益

214百万円

(47百万円増)
(前期比 128.8%) ↑

化粧品部門は、アンチエイジング化粧品市場の競争が激化するなかで、ネット販売に注力した結果、webによる新規受注が増加しました。健康食品部門は、健康志向を背景に、増収増益となりました。

当社グループは、毎年1月26日の「コラーゲンの日」に全国紙に企業広告を掲載しております。コラーゲンの本源的な役割である「つなぐ」という言葉をテーマに、当社商品の差別化を図るとともに、ブランドイメージの定着化に努めてまいります。



▲スキンケアクリーム

皮革関連事業

売上高

9,490百万円

(1,606百万円減)
(前期比 85.5%) ↓

営業利益

277百万円

(23百万円減)
(前期比 92.0%) ↓

靴・袋物部門は、婦人靴用革はエレガンス系婦人靴の需要が大きく落ち込んだことに連動して低調に推移しました。一方、紳士靴用革は機能性に優れた付加価値の高いビジネスシューズ向けが順調に推移しました。

車輛部門は、競合他社の攻勢により主力販売先の売り上げが大幅に減少し、厳しい環境で推移しました。

皮革業界を取り巻く状況はますます厳しさを増しておりますが、きめ細やかな対応で取引先との連携を深めるとともに、主力商品の販路拡大や新規分野の開拓を推進してまいります。



▲紳士靴

食品その他事業

売上高

8,142百万円

(1,090百万円減)
(前期比 88.1%) ↓

営業利益

170百万円

(115百万円減)
(前期比 59.6%) ↓

イタリア関連食材は外食離れ、中食・家食化の影響もあり、売り上げは伸び悩んだものの、収益の確保に努めた結果、増益となりました。有機穀物は顧客の在庫調整の影響により苦戦しました。輸入建材は、金融緩和が進み顧客が

海外との直接輸入に切り替えるなど取扱量が大幅に減少し厳しい結果となりました。

なお、iPS細胞関連事業、BSE検査キット、ペットサプリメントは順調に推移しました。また、リンカー・化成品については、フロアーマーキング、防虫フィルム等の新製品の販売に注力し、順調に推移しました。



▲犬用コラーゲンサプリメント

Q1 コラーゲンの効果はどこで感じやすいの？

当社グループのコラーゲンサプリメント『ニッピコラーゲン100』をご愛用いただいているお客様を対象に行ったアンケート結果をご紹介します。

A 1番は、お肌です。
多くの方が実感しています。

お客様アンケートの結果、1位は肌で、65%の方が肌に変化を実感しています。なかでも肌のハリに変化を感じる方が最も多く、「ふっくらと弾力のある肌になった」「シワが少なくなった」とのご回答がみられました。次に多かったのが、乾燥からくるかゆみの軽減をはじめ

「ガサガサだったかかとかがスベスベに」など、肌荒れや肌質の改善。続いて「シミが薄くなった」とのご意見が多くみられました。

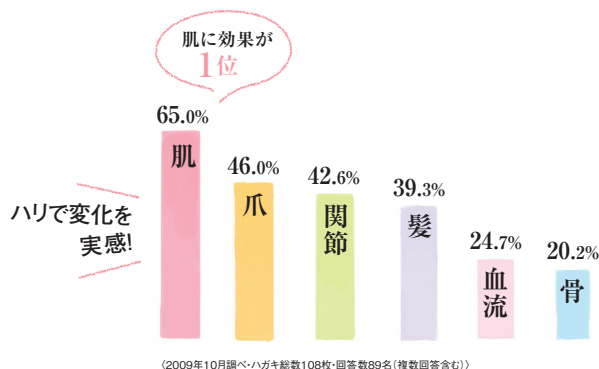
2位は爪で、「血色がよくなった」「割れにくく丈夫になった」というご意見を多数いただきました。

3位の関節では、「階段の上り下りがラクになった」など、ひざの痛みの緩和に対するご意見が多く、次いで、腰痛に対する効果についてのご意見が続きました。

4位の髪では、「抜け毛が少なくなった」とのご意見が最も多く、続いて「ボリュームがアップした」という順でした。

5位の血流では、多くの方が肩こりの緩和を実感されているようで、次いで、冷え性への効果をお感じとのこと。

6位の骨で最も多かったご意見は、「骨密度の数値が上がった」、続いて「骨折が早く治った」という順でした。



Q2 コラーゲンと相性のよい サプリメントは何？

A 「ビタミンC」「カルシウム」
「グルコサミン+コンドロイチン」が
おすすめです。

コラーゲンと最も相性のよいサプリメントは「ビタミンC」です。ビタミンCは、体内のコラーゲンづくりに必要不可欠な栄養素であるだけでなく、酸化の原因である活性酸素を抑え、シミやソバカスの予防にも役立ちます。美肌づくりの最強ペアです。

そのほか、骨密度はもちろん骨の質を高めるなら、コラーゲンと「カルシウム」をご一緒に摂取されることをおすすめします。骨ではコラーゲンが網目のように張り巡らされていて、そこにカルシウムが沈着しています。2つの成分が協力することで、しなやかで丈夫な骨が形成されます。ぜひ、コラーゲンとカルシウムのあわせ技で、健康な骨を育んでください。



(当社グループ会社の取扱商品です)

また、関節には「グルコサミン+コンドロイチン」がおすすめです。軟骨の成分であるコラーゲンと、軟骨の劣化を防ぎ新たな軟骨の生成を促すグルコサミンとコンドロイチンで、丈夫な足腰を保ちます。

Q3 食べたコラーゲンは どうなるの？

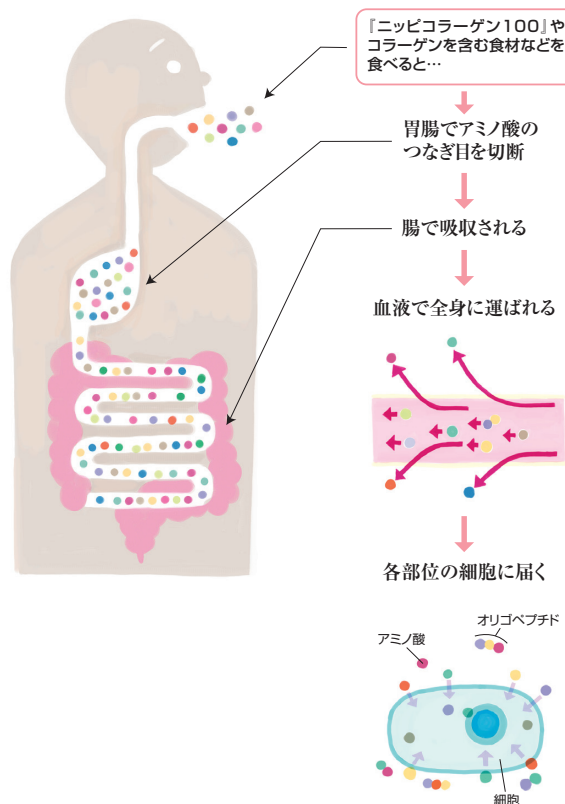
A 細胞まで届いて
コラーゲンづくりに役立ちます。

食べたコラーゲンは、胃や十二指腸などで小さく分解され、「アミノ酸」と、アミノ酸が2～3個結合した「オリゴペプチド」の2種類になります。一般のタンパク質はすべて分解されて「アミノ酸」になるのに対し、コラーゲンはアミノ酸だけでなく「オリゴペプチド」として体内へ吸収されるのが、大きな特長です。

「アミノ酸」は、カラダの各部位の細胞に取り込まれ、コラーゲンなどタンパク質をつくる原料になります。ちなみに、細胞がアミノ酸を取り込んでからコラーゲンを作り出すまでは、長くても約1日といわれています。

「オリゴペプチド」は、コラーゲン特有のアミノ酸である「ヒドロキシプロリン」と「プロリン」が結合したカタチで吸収されることが多く、それが細胞を活性化させ、体内でのコラーゲンづくりを促進します*。

*京都府立大学 佐藤健司教授の論文発表より



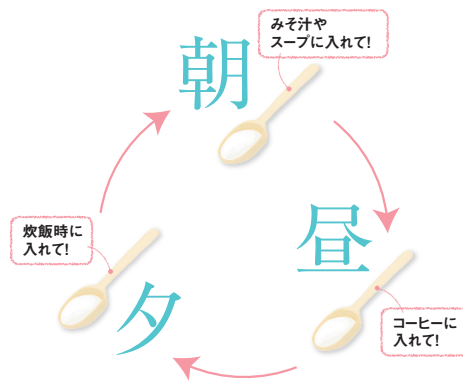
Q4 コラーゲンは、1日のうちでいつ摂るのが効果的?

A お好きなタイミングでお摂りください。
就寝前に摂れば、快眠もサポートします。

食前・食中など空腹時に摂れば効率よく吸収されます。一定量のコラーゲンを体内で循環させることが理想なので、5~10gを1日2~3回に分けて、毎日摂ることがおすすめです。

近年の研究では、コラーゲンの1/3を構成するアミノ酸「グリシン」に、眠りの質をサポートする効果があることが報告されています。深い眠りへ速やかに導くとともに、睡眠中の脳とカラダに休息をもたらすグリシンの効果に注目が集まっています。

寝つきの悪い方や、眠っても疲れが取れないと感じる方は、就寝前の摂取をおすすめします。



コラーゲンは、カラダのあらゆるところで働いているため、摂取しても変化を期待している部分以外で、先に変化を感じることがあります。変化を実感する部位や期間は、個人差やその時の体調によっても変わります。コラーゲンの力を実感するためには、毎日継続して摂取することが大切です。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第169期	第170期
	（平成28年3月31日現在）	（平成29年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	19,509	21,202
固定資産	44,966	44,067
有形固定資産	40,066	38,921
無形固定資産	233	186
投資その他の資産	4,666	4,959
繰延資産	20	13
資産合計	64,497	65,282
負債の部		
流動負債	19,583	20,398
固定負債	19,551	17,785
負債合計	39,135	38,183
純資産の部		
株主資本	14,847	16,596
その他の包括利益累計額	10,125	10,080
非支配株主持分	389	421
純資産合計	25,361	27,099
負債及び純資産合計	64,497	65,282

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第169期	第170期
	（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）	（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）
売上高	42,047	38,976
売上原価	32,796	29,626
販売費及び一般管理費	7,094	6,994
営業利益	2,156	2,356
営業外収益	164	172
営業外費用	465	352
経常利益	1,856	2,176
特別利益	0	506
特別損失	1	347
税金等調整前当期純利益	1,855	2,336
当期純利益	1,198	1,927
親会社株主に帰属する当期純利益	1,144	1,894

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第169期	第170期
	（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）	（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,686	2,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,997	△1,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	645	△609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△17
現金及び現金同等物の増・減(△)額	334	205
現金及び現金同等物の期首残高	3,552	3,886
現金及び現金同等物の期末残高	3,886	4,092

会社の概況／株式情報

(平成29年3月31日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社ニッピ
設立年月日	1907年(明治40年)4月1日
資本金	4,404百万円
従業員数	606名(連結対象会社合計)
本社	東京都足立区千住緑町1-1-1
主な事業内容	コラーゲン・ケーシング、ゼラチン、その他コラーゲン関連製品の製造販売および皮革関連製品等の販売
ホームページ	http://www.nippi-inc.co.jp/
主要取引銀行	みずほ銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ信託銀行

(平成29年3月31日現在)

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リーガルコーポレーション	2,077	14.44
大成建設株式会社	1,113	7.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	705	4.90
中央建物株式会社	582	4.05
東京建物株式会社	500	3.48
株式会社みずほ銀行	349	2.43
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	316	2.20
みずほ信託銀行株式会社	300	2.09
特種東海製紙株式会社	250	1.74
RE FOUND 107-CLIENT AC	215	1.49

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(59,539株)を控除して計算しております。

(平成29年6月29日現在)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	伊藤 隆 男
常務取締役	河村 桂 作
取締役	小林 祥 彦
取締役	伊藤 政 人
取締役	橋爪 秀 知
取締役	大浦 顕 逸
取締役(社外)	村上 勝 彦
監査役※	吉田 安
監査役(社外)※	早山 徹
監査役(社外)	大倉 喜 彦

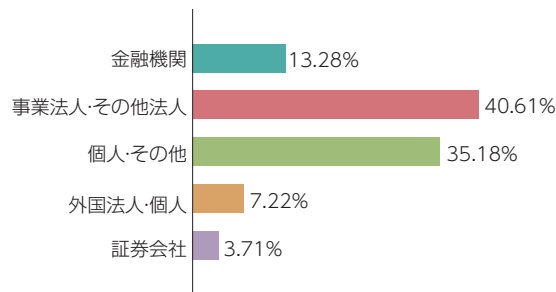
※は常勤監査役

(平成29年3月31日現在)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	14,385,461株
	(自己株式59,539株を除く)
株主総数	2,059名

所有者別持株比率



ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報、IR情報など様々な情報を掲載しております。



<http://www.nippi-inc.co.jp/>

株主優待

平成29年3月31日現在の株主名簿に記載された、1単元(1,000株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

●「ニッピーコラーゲン100」1箱(110g×3袋)



7月上旬の発送を予定しております。

●お問い合わせ先
03-3888-6651

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 基準日	毎年6月 定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める
配当金受領株主確定日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
1単元の株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先) 公告方法	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル) 電子公告により当社ホームページに掲載 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

【株式に関するお手続きについて】

1. 証券会社等に口座をお持ちの場合、原則として住所変更や買取請求などの株主様の各種お手続きは、ご利用の証券会社等を経由して行っていただくこととなりますので、証券会社等宛ご連絡をお願いいたします。
2. 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、「みずほ証券」本店・全国各支店・プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)、「みずほ信託銀行」本店・全国各支店でお取り扱いいたします。
3. 支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、上記「郵便物送付先」宛お問い合わせください。
4. 未払配当金のお支払につきましては、「みずほ信託銀行」本店・全国各支店、「みずほ銀行」本店・全国各支店にお問い合わせください。なお、「みずほ証券」ではお取り次ぎのみとさせていただきます。